

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2019年8月14日
【四半期会計期間】	第91期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	はごろもフーズ株式会社
【英訳名】	HAGOROMO FOODS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 池田 憲一
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っています。)
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市駿河区南町11番1号 静銀・中京銀静岡駅南ビル3階
【電話番号】	(054)288 5200
【事務連絡者氏名】	常務取締役経営企画本部長 後藤 佐恵子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) はごろもフーズ株式会社東京支店 (東京都中央区八丁堀一丁目5番2号 はごろもビル) はごろもフーズ株式会社名古屋支店 (愛知県名古屋市中区新栄町二丁目9番地 スカイオアシス栄) はごろもフーズ株式会社大阪支店 (大阪府大阪市都島区片町二丁目2番48号 J E I 京橋ビル)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第90期 第1四半期連結 累計期間	第91期 第1四半期連結 累計期間	第90期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年6月30日	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	20,311,469	20,978,552	79,920,570
経常利益 (千円)	781,728	811,714	1,868,952
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	417,246	551,397	993,995
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	572,195	352,548	780,175
純資産額 (千円)	27,079,305	27,299,801	27,116,648
総資産額 (千円)	49,028,540	49,734,281	47,470,924
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	44.34	58.59	105.62
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	55.2	54.9	57.1

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高は消費税等は含みません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

4 当社は2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っています。第90期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益を算定しています。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

2019年3月期の有価証券報告書（2019年6月27日提出）に記載の内容から重要な変更がないため、記載を省略しています。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における当社グループは、原材料価格の上昇や人件費、物流費等の上昇を踏まえて、製品の価格改定を行いました。また、前期に引き続き品質や生産効率を重視した製品の集約化を進めましたが、主力のツナ製品が好調で、売上高は前年同期比3.3%増の209億78百万円となりました。

利益面では、原材料価格に加え、運賃・保管料等の上昇が続いているものの、付加価値を高めた新製品が好調だったことや広告宣伝費が減少したこと等により、営業利益は7億3百万円（前年同期比8.5%増）となりました。一方、海外関連会社の持分法による投資利益が減少したこと等により、経常利益は8億11百万円（同3.8%増）に留まりました。前年同期には、製品回収による特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億51百万円（同32.2%増）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、％）

製品群		前年同期		当第1四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	8,925,741	43.9	9,686,314	46.2	760,572	8.5
		デザート	1,353,127	6.7	1,358,618	6.4	5,490	0.4
		パスタ&ソース	1,933,836	9.5	2,115,251	10.1	181,414	9.4
		総菜	1,963,330	9.7	1,953,345	9.3	9,984	0.5
		削りぶし・のり・ふりかけ類	1,308,337	6.4	1,241,345	5.9	66,991	5.1
		ギフト・その他食品	883,421	4.4	883,364	4.2	57	0.0
		計	16,367,795	80.6	17,238,239	82.1	870,444	5.3
	業務用食品	3,394,751	16.7	3,231,092	15.4	163,659	4.8	
	ペットフード・バイオ他	447,144	2.2	388,540	1.9	58,604	13.1	
	計	20,209,691	99.5	20,857,872	99.4	648,180	3.2	
その他	101,777	0.5	120,680	0.6	18,903	18.6		
合計	20,311,469	100.0	20,978,552	100.0	667,083	3.3		

（注）上記金額は消費税等を含みません。

「ツナ」では、油を使用せずに油漬けの美味しさを再現した新製品「オイル不使用シーチキン」等が好調で、売上高は前年同期比8.5%増加しました。

「デザート」では、原料価格の高騰による価格改定や製品数の絞り込みの影響で、みかん・桃・あずき類が減少しましたが、主力の朝からフルーツが堅調で、売上高は同0.4%増加しました。

「パスタ&ソース」では、前年の製品回収による影響で減少したマカロニ類が回復傾向にあることに加え、主力のスパゲッティが好調で、売上高は同9.4%増加しました。

「総菜」では、さば・いわし等が好調でしたが、他社の廉価販売の影響を受けた主力のシャキッとコーンが低調で、売上高は同0.5%減少しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、味付けきざみのり「味きざみ」シリーズが好調でしたが、原料価格の高騰により価格改定した削りぶし製品の販売機会が減少し、売上高は同5.1%減少しました。

「ギフト・その他食品」では、前年に大幅に伸長した包装米飯「パバッとライス」が引き続き好調でしたが、ギフトが低調で、売上高は若干減少しました。

「業務用食品」では、製品の価格競争の激化に加え、原料価格や物流費の高騰を受けて、ツナ・デザート・乾物製品の価格改定を行った影響により、売上高は同4.8%減少しました。

「ペットフード・バイオ他」では、まぐる原料の供給が減少したことによる生産数量の減少で、売上高は同13.1%減少しました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、48,967千円です。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	41,300,000
計	41,300,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,325,365	10,325,365	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	10,325,365	10,325,365		

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	10,325,365	-	1,441,669	-	942,292

(注) 2019年6月27日開催の定時株主総会決議により、会社法第448条第1項の規定にもとづき、2019年8月1日付で資本準備金942,292千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えています。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)にもとづく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 914,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,387,800	93,878	-
単元未満株式	普通株式 23,165	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	10,325,365	-	-
総株主の議決権	-	93,878	-

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) はごろもフーズ株式会社	静岡市清水区島崎町151	914,400	-	914,400	8.86
計	-	914,400	-	914,400	8.86

(注) 第1四半期会計期間末日現在の自己株式数は914,470株です。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）にもとづいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）および第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人双研社による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	810,711	961,875
受取手形及び売掛金	15,116,473	16,981,246
商品及び製品	8,634,011	8,364,785
仕掛品	81,600	75,759
原材料及び貯蔵品	3,052,374	3,370,102
その他	1,755,181	1,689,973
貸倒引当金	3,494	2,984
流動資産合計	29,446,858	31,440,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,171,224	4,192,213
土地	3,505,898	3,469,184
その他(純額)	2,395,249	2,926,911
有形固定資産合計	10,072,372	10,588,309
無形固定資産		
投資その他の資産	372,294	339,336
投資有価証券	6,783,789	6,607,784
退職給付に係る資産	211,764	177,780
その他	587,306	583,854
貸倒引当金	3,461	3,543
投資その他の資産合計	7,579,399	7,365,876
固定資産合計	18,024,066	18,293,523
資産合計	47,470,924	49,734,281
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,818,697	13,843,905
未払金	4,767,121	3,353,302
未払法人税等	132,501	284,285
売上割戻引当金	29,652	237,013
販売促進引当金	3,215	1,405,973
賞与引当金	332,846	517,960
その他	514,425	1,129,503
流動負債合計	18,598,461	20,771,943
固定負債		
役員退職慰労引当金	757,114	751,575
退職給付に係る負債	10,918	12,769
その他	987,781	898,191
固定負債合計	1,755,814	1,662,536
負債合計	20,354,276	22,434,480

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,527	942,527
利益剰余金	24,635,627	25,017,629
自己株式	2,162,314	2,162,314
株主資本合計	24,857,511	25,239,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,570,904	2,439,393
繰延ヘッジ損益	3,080	78,278
為替換算調整勘定	106,754	107,200
退職給付に係る調整累計額	201,932	193,625
その他の包括利益累計額合計	2,259,137	2,060,288
純資産合計	27,116,648	27,299,801
負債純資産合計	47,470,924	49,734,281

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	20,311,469	20,978,552
売上原価	12,872,713	13,417,622
売上総利益	7,438,755	7,560,929
販売費及び一般管理費	6,790,753	6,857,823
営業利益	648,002	703,106
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	82,650	85,557
持分法による投資利益	27,538	-
仕入割引	8,261	8,583
賃貸料収入	18,455	18,076
その他	14,819	14,931
営業外収益合計	151,729	127,151
営業外費用		
支払利息	1,369	927
賃貸収入原価	9,330	12,226
持分法による投資損失	-	1,528
その他	7,303	3,861
営業外費用合計	18,003	18,543
経常利益	781,728	811,714
特別利益		
固定資産売却益	-	9,256
特別利益合計	-	9,256
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	81
固定資産除却損	6,218	482
投資有価証券評価損	8,400	-
品質関連損失	160,147	-
特別損失合計	174,766	564
税金等調整前四半期純利益	606,961	820,405
法人税等	189,715	269,008
四半期純利益	417,246	551,397
親会社株主に帰属する四半期純利益	417,246	551,397

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	417,246	551,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,334	131,511
繰延ヘッジ損益	155,447	75,197
退職給付に係る調整額	15,423	5,285
持分法適用会社に対する持分相当額	78,256	2,574
その他の包括利益合計	154,949	198,848
四半期包括利益	572,195	352,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	572,195	352,548
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結損益計算書関係)

品質関連損失

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

当社が製造しているマカロニ製品に製造設備の樹脂片が混入している可能性のあることが判明し、2018年5月9日より当社ホームページや新聞などで公表を行うとともに、当該製品の自主回収を行っており、これらの費用などを計上しています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	221,485千円	225,474千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

2018年6月28日の第89期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	169,404千円
(ロ) 1株当たり配当額	9円00銭
(ハ) 基準日	2018年3月31日
(ニ) 効力発生日	2018年6月29日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っています。2018年6月28日の第89期定時株主総会決議による1株当たり配当額については、当該株式併合前の実際の配当額を記載しています。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

2019年6月27日の第90期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	169,396千円
(ロ) 1株当たり配当額	18円00銭
(ハ) 基準日	2019年3月31日
(ニ) 効力発生日	2019年6月28日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)および当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益および算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	44円34銭	58円59銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	417,246	551,397
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益(千円)	417,246	551,397
普通株式の期中平均株式数(株)	9,411,356	9,410,895

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2 当社は2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しています。

(重要な後発事象)

(資本準備金の額の減少)

当社は、2019年5月13日開催の取締役会において、2019年6月27日開催の第90期定時株主総会に「資本準備金の額の減少の件」を付議することを決議し、同株主総会にて承認決議され、2019年8月1日に効力が発生しました。

1. 資本準備金の額の減少の目的

今後の資本政策上の機動性および柔軟性を確保するため、会社法第448条第1項の規定にもとづき、資本準備金の額の全額を減少させ、その他資本剰余金に振り替えるものです。

2. 資本準備金の額の減少の要領

- | | |
|-------------------|--------------|
| (1)減少する資本準備金の額 | 942,292,956円 |
| (2)増加するその他資本剰余金の額 | 942,292,956円 |

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

はごろもフーズ株式会社

取締役会 御中

監査法人双研社

代表社員 公認会計士 吉澤 秀雄
業務執行社員

代表社員 公認会計士 渡辺 篤
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているはごろもフーズ株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、はごろもフーズ株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。